

# モニタリング結果報告書 (平成29年度)

## 1. 施設概要

施設名	座間谷戸山公園		
所在地	座間市入谷		
サイトURL	http://www.zamayatoyama.kanagawa-park.or.jp/		
根拠条例	都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成5年4月)		
指定管理者名	公益財団法人 神奈川県公園協会		
指定期間	H27.4.1~H32.3.31	施設所管課	都市公園課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況の評価はS、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はAで、3項目評価はSとなった。            指定管理者は、これまで積み上げてきた県民協働による維持管理・運営管理を着実に継続して、利用者数・満足度ともに優れた実績を収めていること、事故・苦情等も適切に処理していることなどを総合的に勘案して、極めて良好な管理を行っていたと評価する。</p> <p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況            事業計画書の内容どおり、里山環境の再生と明るく快適な空間づくり、里山体験や健康づくりの場の提供、連携協働を通じた、より良い公園づくり、防災機能の確保等を実施した。</p> <p>◆利用状況            体験プログラムの充実などで利用者数の目標達成率111.8%となったため、S評価となった。前年度対比では6.4%のマイナスとなっている。自然の中での散策が主な利用形態であり、利用者数は天候に大きく左右されるが、里山体験や健康づくりの場提供などのサービス向上で利用促進に取り組んでいる。</p> <p>◆利用者の満足度            県が年間5回調査を実施し、上位2段階の回答割合が95.1%となったためS評価となった。</p> <p>◆収支状況            自販機収入が約10万円の増となり、植物管理で外注予定業務を直営で執行するなどの節減努力により支出が約86万円の減となり、収支比率は1.44%のプラスとなったため、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等            特に無かった。</p> <p>◆事故・不祥事等            除草作業中の飛び石で駐車中の車を傷つける事故を起こしたが、被害者には誠実に対応するとともに、全員ミーティングで情報を共有し、適切な作業手順や機種の選定等の再発防止対策を講じた。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況            県による監査、労働基準監督署からの指摘事項は無い。</p> <p>◆その他            なお、平成29年度の3項目評価についてはS評価とした。</p>	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
S	

## 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	無
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月2回	無
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">無</span>	指導・改善勧告等の内容
		無

4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>里山環境の再生と明るく快適な空間づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○適切で効率的な樹林管理</li> <li>○生物多様性に配慮した維持管理</li> <li>○資源循環型管理の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画量の2倍以上の本数の高木管理（枝おろし）を実施した。</li> <li>○エリア毎に目標を定めた維持管理をきめ細かく実施し、特定外来生物の駆除や希少種の保護を実施した。</li> <li>○発生材をベンチや標柱に活用するとともに、チップ化に取り組んだ。</li> </ul>	<p>提案した内容は実施され、着実な里山環境の保全・活用が図られた。</p> <p>今後も環境保全と効率的な維持管理の両立のため、努力と工夫を期待する。</p>
<p>里山体験や健康づくりの場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体験プログラムの充実</li> <li>○健康づくりの場、サービスの提供</li> <li>○拠点施設の有効活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然観察会、親子で米作り隊、里山保全隊を実施した。</li> <li>○ウォーキングのための標識設置や講座開催、ボランティアと協働での花壇管理等を実施した。</li> <li>○やとやま講座、里山遊び、写真展等で有効に活用した。</li> </ul>	<p>提案した内容は実施され、利用促進の効果が認められた。</p> <p>魅力的な野外体験、健康づくりの場を提供し、各種の公園利用とうまく共存するよう利用指導することを期待する。</p>
<p>連携協働を通じた、より良い公園づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「運営会議」との連携・協働</li> <li>○企業や学校への体験機会の提供</li> <li>○地元との連携による広報の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間9回の運営会議で、利用団体等との意見交換を行った。</li> <li>○中学校の職場体験を受け入れた。</li> <li>○駅からのウォーキングマップ作成や市広報掲載などに取り組んだ。</li> </ul>	<p>提案した内容は実施され、相応の効果が認められた。</p> <p>公園の特性を踏まえ、効果的な連携協働を期待する。</p>
<p>防災機能の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○防災設備の点検、補修の徹底</li> <li>○備蓄品の充実</li> <li>○周辺施設との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期稼動点検を実施した。</li> <li>○食料・水、簡易トイレ等を備蓄している。衛星電話で県と通信訓練を行った。</li> <li>○座間市消防署と協働で消防訓練、AED訓練を実施した。</li> </ul>	<p>提案した内容は実施され、広域避難場所である当公園の防災機能の確保に努めている。</p> <p>座間市と連携した不断の備えを期待する。</p>

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等

## 5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
S	

	前々年度	前年度	平成29年度
利用者数※	438,088	460,043	430,578
対前年度比		105.0%	93.6%
目標値	370,581	377,848	385,114
目標達成率	118.2%	121.8%	111.8%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数と団体利用者数から推計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

## 6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日3回、平日2回の計5回調査	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 103 / 103 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	64	34	0	4	1	103	散歩も楽にでき、満足している
回答率	62.1%	33.0%	0.0%	3.9%	1.0%		
前年度の回答数	58	56	4	6	2	126	
前年度回答率	46.0%	44.4%	3.2%	4.8%	1.6%		
回答率の対前年度比	135.0%	74.3%	0.0%	81.6%	61.2%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

## 7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマ イナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	65,355	0	1,821	自販機1,821	67,176	67,176	0	
	決算	65,355	0	1,952	自販機1,952	67,307	65,498	1,809	102.76%
前年度	当初予算	65,355	0	1,866	自販機1,866	67,221	67,221	0	
	決算	65,355	0	2,548	自販機2,548	67,903	66,699	1,204	101.81%
29年度	当初予算	65,355	0	1,912	自販機1,912	67,267	67,267	0	
	決算	65,355	0	2,009	自販機2,009	67,364	66,409	955	101.44%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

29年度 /

前年度 /

前々年度 /

<備考>

## 8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	0 件	無	
	件		
職員対応	0 件	無	
	件		
事業内容	0 件	無	
	件		
その他	0 件	無	
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
2017. 4. 26	<p>①10時20分ごろ、県道沿いの斜面で機械除草を行っていた職員が小石を飛ばして、信号待ち車両の後部ドアに約1cmの傷をつけた。</p> <p>②同日14時20分に事故概要と事後処置についての電話報告を受けた。</p> <p>③同日16時に相手から見積書を受け取り、5月30日に示談成立。 再発防止策として、4月27日にスタッフ全員での再発防止対策会議を実施。作業前の現場確認、飛び石の少ない機種の使用、保護板の併用、手押し式除草機械（4輪）使用時は十分な立ち入り禁止区域の設定などを確認しあった。</p> <p>④無</p> <p>⑤刈払機による飛び石、指定管理者が修理費と代車代金の費用を負担した。</p> <p>⑥無</p>
	<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p>

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

## 10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。